



# 最近の県内経済情勢

令和 5 年 1 月 31 日

財務省関東財務局

長野財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

お問い合わせ先  
長野財務事務所財務課  
電話番号 026-234-5124

## 1. 総論

### 【総括判断】

# 「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、改善しつつある。

### 【各項目の判断】

項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	持ち直している	持ち直している	→
雇用情勢	改善しつつある	改善しつつある	→
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	4年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	4年度は増益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が縮小している	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘

### 【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続くなか、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っており、個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 食料品や化粧品を中心に低価格品を求める動きがみられるものの、クリスマスケーキやおせちなどは好調でハレの日需要は堅調である。(百貨店・スーパー、中堅企業)
- 物価高の影響で売上は増加しているものの、買上点数は減少している。また、食べ切りサイズの食品が好調となるなど、節約意識の高まりがみられる。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 外出自粛の雰囲気や和らぐなかで、通勤・通学客、観光客など全体的に人流が回復しており、弁当や飲料などの売行きが好調。(コンビニエンスストア、大企業)
- 新型コロナの自宅療養や風邪に備えるための解熱剤や風邪薬などが売れているほか、抗原検査キットの需要も高まっている。(ドラッグストア、中小企業)
- 全国旅行支援等の効果により、日帰り客、宿泊客ともに増加している。足下でコロナ感染者数は多いものの、キャンセルはほとんどみられない。(業界団体)

### ■ 生産活動 「持ち直している」

鉱工業生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイス、食料品、電気機械、輸送機械などは下降しているものの、汎用・生産用・業務用機械、情報通信機械などは上昇しており、全体として生産活動は、持ち直している。

- 半導体部品や自動車関連の企業の設備投資意欲が旺盛なため、製造現場で使用される機械製品の生産量が増加している。(汎用機械、中堅企業)
- 供給制約の影響は残るものの、低消費電力で環境性能に優れた製品の需要が伸長しており、生産量が増加している。(情報通信機械、大企業)
- テレワークの普及によるパソコン需要が一服したため、パソコン向け半導体部品の生産量が減少。(電子部品・デバイス、大企業)

### ■ 雇用情勢 「改善しつつある」

有効求人倍率は横ばいで推移するなか、新規求人数は前年を上回っており、雇用情勢は、改善しつつある。

- パート従業員の応募を増やすため、これまで夜間に行っていたバックヤード業務を日中の時間帯へ移すなど、業務体系の見直しに取り組んでいる。(小売業、中堅企業)
- 好調な製造業の業種で多くの企業が求人を増やしていることから、新規・中途ともに採用が難航していることに加え、好条件の企業に転職する従業員が増えており、人員の確保に苦労している。(食料品、中小企業)

### ■ 設備投資 「4年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年10~12月期

法人企業景気予測調査(4年10~12月期調査)で4年度の設備投資計画をみると、製造業は前年比20.9%の増加見込み、非製造業は同▲7.9%の減少見込み、全産業では同16.3%の増加見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「4年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」4年10~12月期

法人企業景気予測調査(4年10~12月期調査)で4年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比18.7%の増益見込み、非製造業では同▲8.9%の減益見込み、全体では同15.9%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年10~12月期

法人企業景気予測調査(4年10~12月期調査)の企業の景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超幅が縮小している。

先行きについては、5年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数は、貸家、分譲住宅は前年を上回っているものの、持家は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

# 最近の県内経済情勢

## 資料編

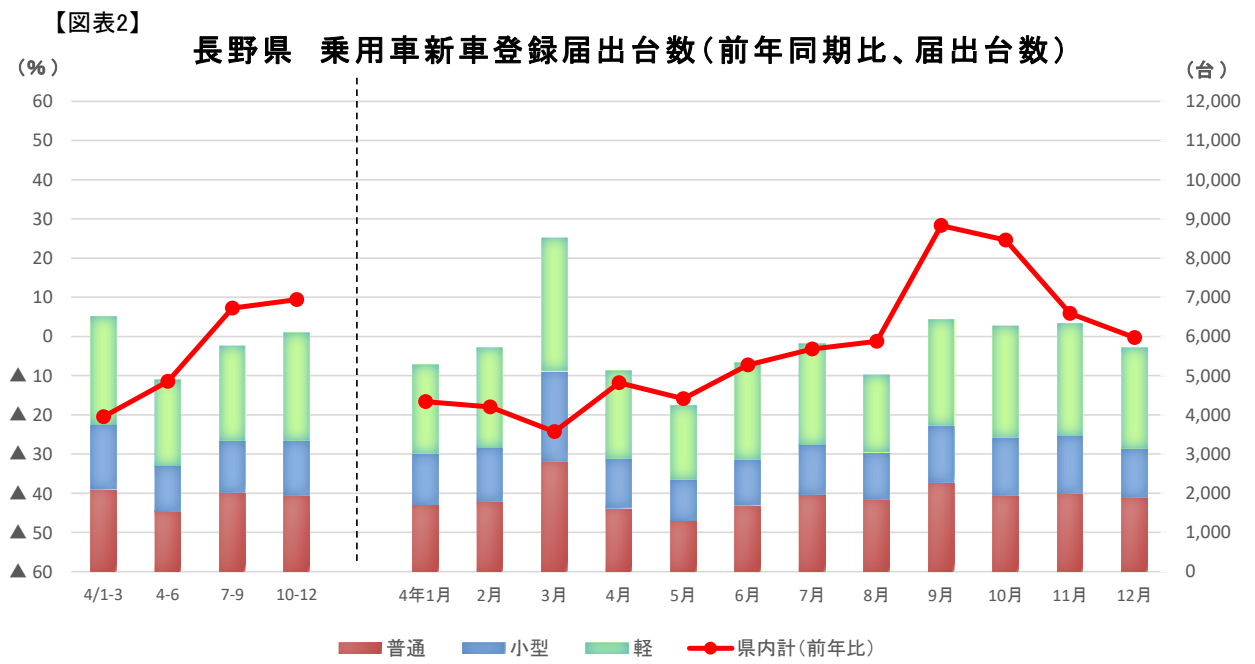
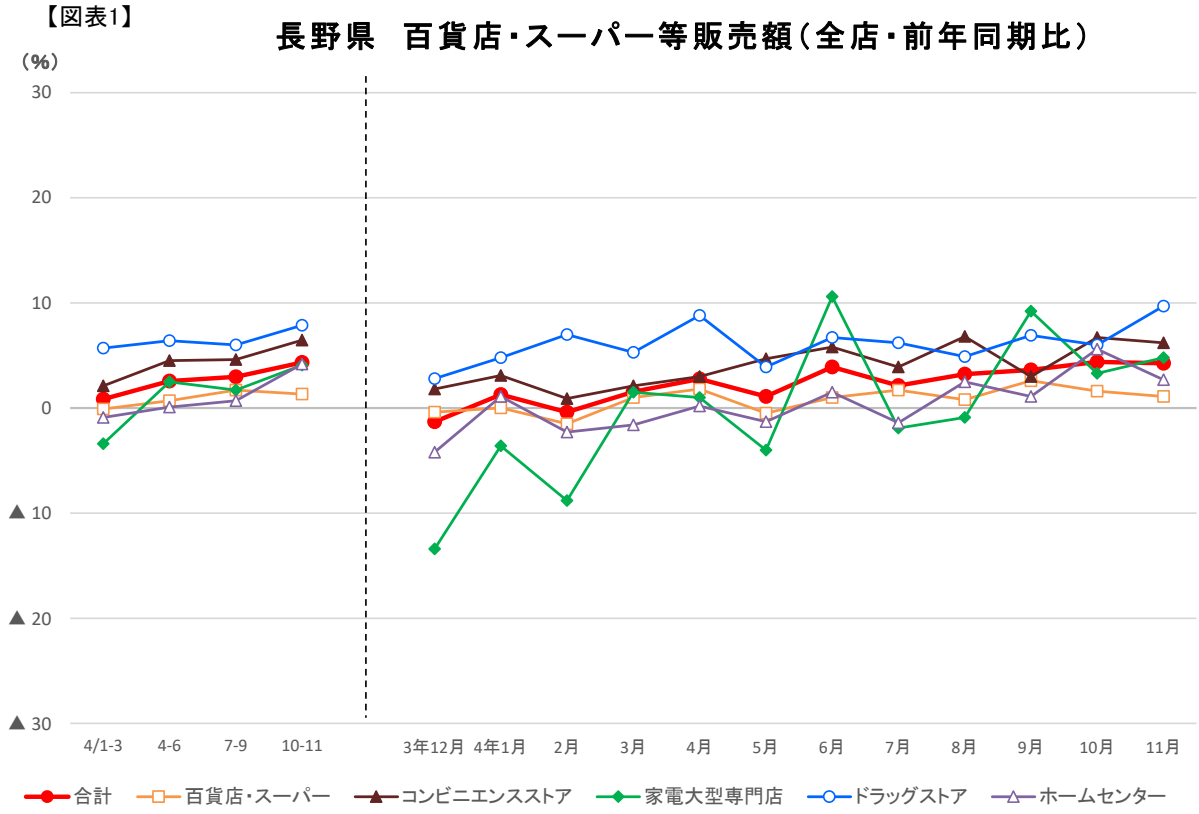
令和 5 年 1 月 31 日

財務省 関東財務局

長野財務事務所

# 1. 個人消費

緩やかに持ち直している

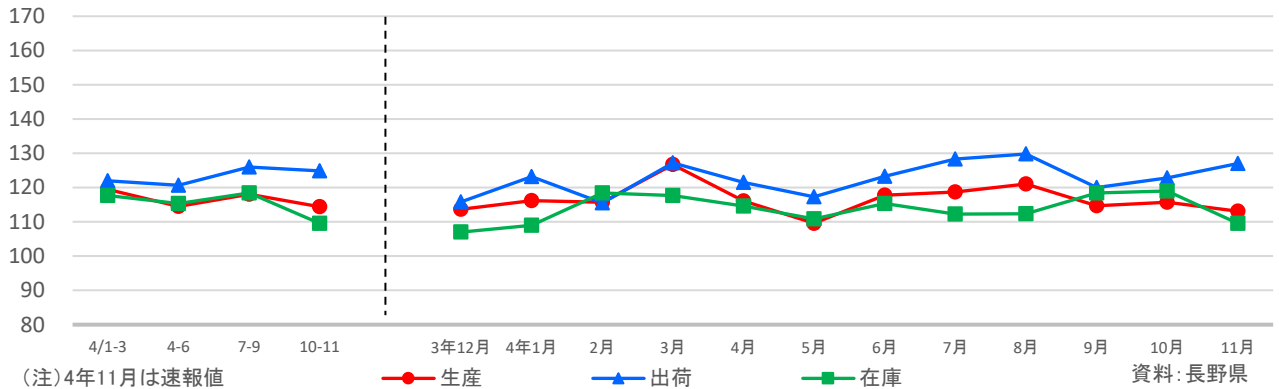


## 2. 生産活動

持ち直している

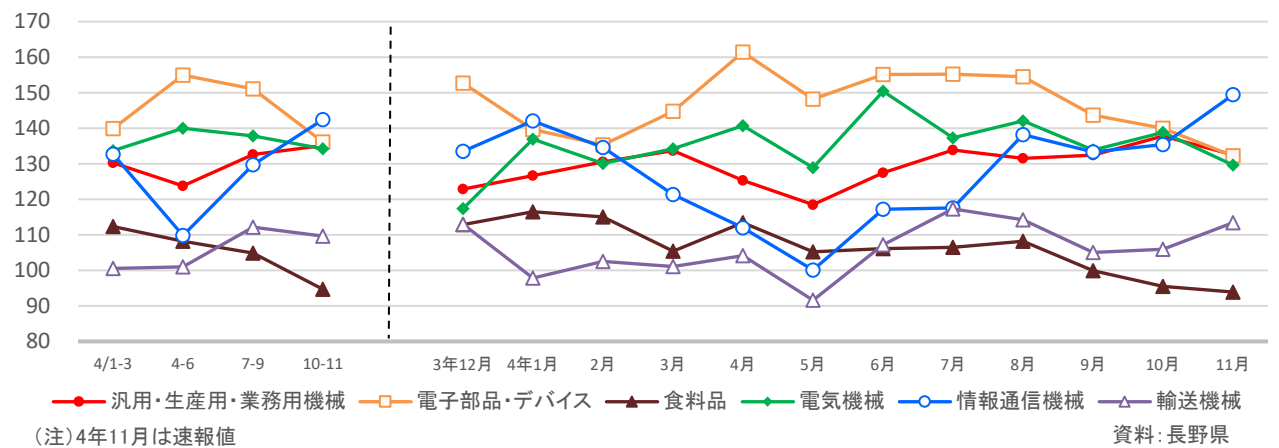
【図表3】

長野県 鉱工業指数(季節調整値・H27=100)



【図表4】

長野県 業種別鉱工業生産指数(季節調整値・H27=100)

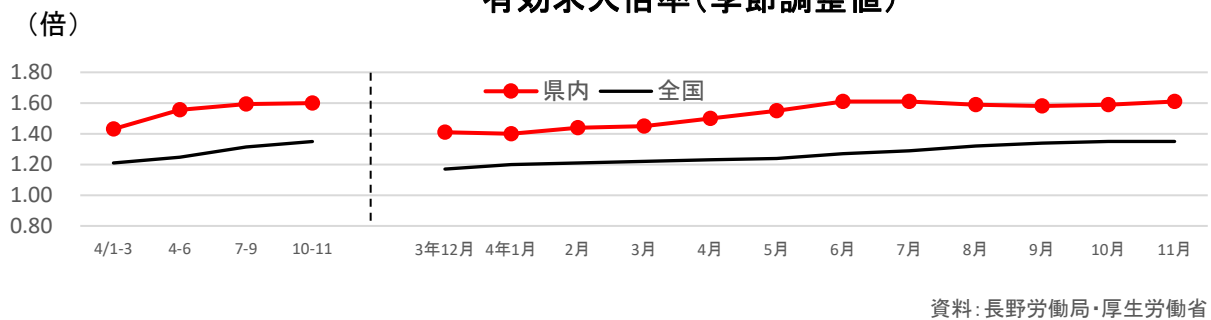


## 3. 雇用情勢

改善しつつある

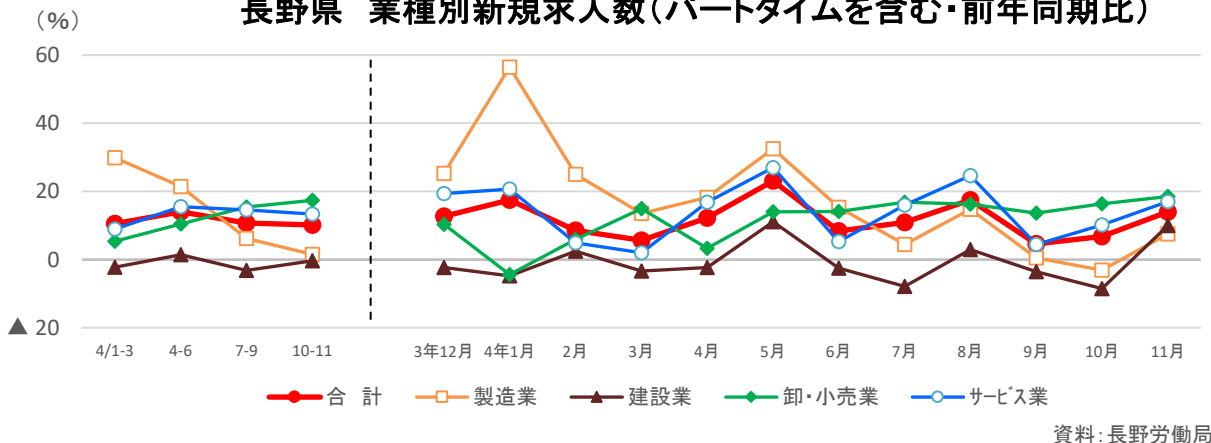
【図表5】

有効求人倍率(季節調整値)



【図表6】

長野県 業種別新規求人数(パートタイムを含む・前年同期比)



#### 4. 企業収益・設備投資

企業収益:4年度は増益見込みとなっている  
設備投資:4年度は増加見込みとなっている

【図表7】

#### 企業収益・設備投資

(前年比増減率:%)

	売上高	経常利益		設備投資
			(受取配当金を除く)	
全規模・全産業	6.1 ( 6.0)	15.9 ( 18.1)	17.7 ( 19.2)	16.3 ( 18.5)
大企業	6.3 ( 6.2)	17.4 ( 19.9)	18.5 ( 20.4)	17.0 ( 18.5)
中堅企業	8.0 ( 8.5)	16.0 ( 1.7)	16.5 ( 6.2)	11.3 ( 22.1)
中小企業	▲ 0.5 ( ▲ 0.5)	▲ 33.8 ( ▲ 17.4)	▲ 29.4 ( ▲ 16.7)	▲ 4.3 ( 7.1)
製造業	5.6 ( 5.8)	18.7 ( 21.1)	19.8 ( 21.8)	20.9 ( 23.0)
非製造業	7.5 ( 6.7)	▲ 8.9 ( ▲ 8.5)	▲ 4.6 ( ▲ 7.4)	▲ 7.9 ( ▲ 6.3)

(注)1.( )書は前回(4年7~9月期)調査結果

2.売上高、経常利益は「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除いたもの

資料:長野財務事務所  
「法人企業景気予測調査(令和4年10~12月期調査)」

#### 5. 企業の景況感

「下降」超幅が縮小している

#### 企業の景況判断BSI (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

【図表8】

(単位:%ポイント)

	4年7~9月	4年10~12月	5年1~3月	5年4~6月
全規模・全産業	( ▲ 13.4)	▲ 6.6 ( ▲ 4.5)	▲ 11.8 ( ▲ 9.0)	2.2
大企業	( ▲ 2.7)	5.4 ( 8.1)	5.4 ( 2.7)	2.7
中堅企業	( ▲ 11.5)	▲ 16.0 ( 3.8)	▲ 16.0 ( ▲ 3.8)	8.0
中小企業	( ▲ 19.7)	▲ 9.5 ( ▲ 14.1)	▲ 18.9 ( ▲ 16.9)	0.0
製造業	( ▲ 17.2)	▲ 11.9 ( ▲ 5.2)	▲ 15.3 ( ▲ 1.7)	6.8
非製造業	( ▲ 10.5)	▲ 2.6 ( ▲ 3.9)	▲ 9.1 ( ▲ 14.5)	▲ 1.3

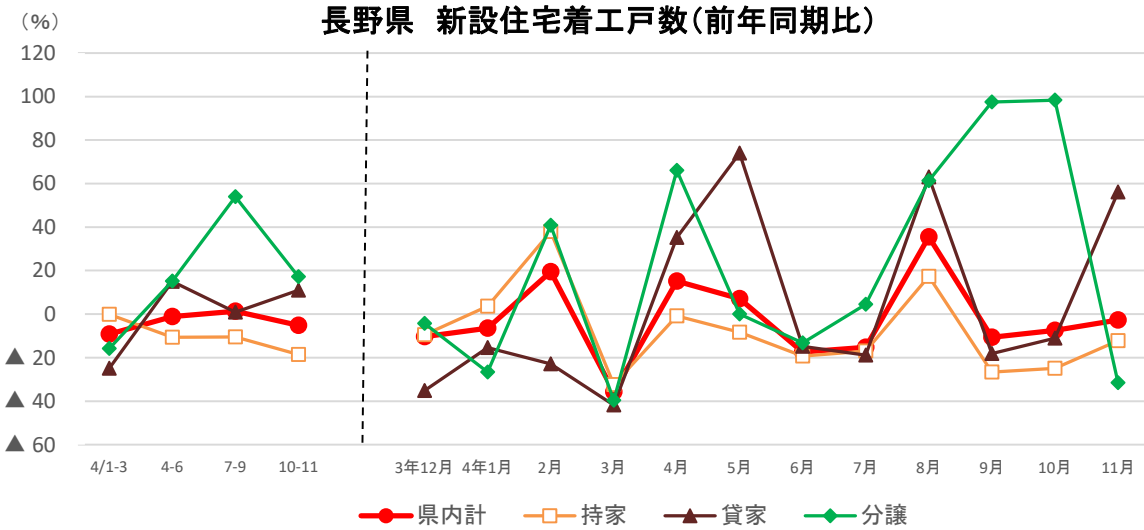
(注)( )書は前回(4年7~9月期)調査結果

資料:長野財務事務所  
「法人企業景気予測調査(令和4年10~12月期調査)」

## 6. 住宅建設

前年を下回っている

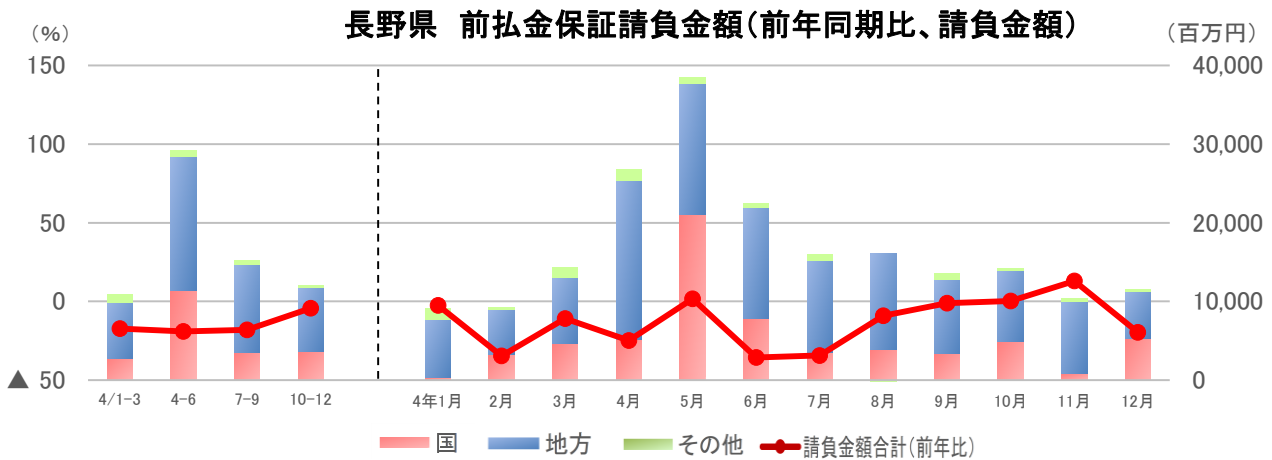
【図表9】



## (参考) 公共工事

前年を下回っている

【図表10】



## (参考) 倒産

前年を下回っている

【図表11】

